
水中の鼠

senga

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水中の鼠

【Nコード】

N5356R

【作者名】

s e n g a

【あらすじ】

恥ずかしい。生きてることすら申し訳ない。笹川叶の心を占めるのは負の感情のみだったから、周りへ目を向ける余裕がない。そんな叶を見つめる2人の視線のみが、彼へ道を示す。深海魚のような哉夜と、2人の飼い主と自称する昴。流れに抗うには、鼠は弱すぎる。

ここは水中のようだ。

そう言う友人が羨ましかった。

呼吸をするのと同じくらい自然に眠り、ゆるゆるとした動きで徘徊する。

その様はまるで深海魚のようだ、よく知らないがらに思った。

俺にとって世界は…

いや、世界に俺がいるべき場所などなかった。

できるならこの友人と同じ深海に沈みたい。そう思ったことは一度じゃなかった。

お前じゃ溺れるよ。

忠告は楽しげに生きる幼なじみから。

お前になってみたい、なれるはずもないだろうけど。

他人の生き方を羨み、妬み、羞恥心ばかりを抱えて歩む。俺だって、
けしてこんなふうには生きてなかったわけじゃない。

足掻いて、足掻いて、安定した足場を見つけようと必死だった。い
つだって一生懸命で、歩くだけで精一杯だった。

「お前はマウスのようだな」

「なにそれ」

幼なじみ、羽生昴はにこうすけは笑みを深くして瞬く。

「いつもビクビクしてる。常に何かに怯えて、焦ってないか」
「意味不明」

素っ気なく返すのは、理解されたくないからだ。浅い底を深く見せたいという意地さえ、幼稚に思えるのに。逃げるように目を落とした英単語帳をめくる。昴の視線がどこへいったのか怖くて顔を上げることができなかった。

どうして俺はこんなにつまらない人間なんだろう。恥ずかしい。申し訳ない。

羞恥心から目をそらすために口を開く。

「なあ、哉夜は今日も遅刻かな」

「あー、まだ来てないな。あいつも馬鹿だ」

毎週火曜には英単語のテスト、木曜には古語のテストと決められていて、今日は火曜日だ。つまり英単語テストの日。

そして昴が、俺ともう一人の友人である佐伯哉夜さえきかなやを馬鹿にするのは今に始まったことじゃない。

幼なじみだけあって小さい頃から馬鹿馬鹿言われつづけた俺はとっくに麻痺していて、哉夜はあの性格だからそんなこと気にもしない。叱る人間もないから昴の馬鹿発言は留まるところを知らない。

「ん？ああでも来た」

つまらなそうに呟いた言葉を拾って、廊下側最後尾の席を見ると哉夜がいた。

机に薄い鞆を落とし、音をたてて椅子を引くと身を投げるようにドカッと座る。

いちいちでかい音をたてるので、隣の席の女の子が勢いよく振り向いていた。哉夜は気にもしない。

「哉夜ー、今日英単のテストだぞ」

俺が大きめに声をかけると、不思議そうにこちらを見る。

「寝ぼけてるんじゃないか」

昴が呆れたように言う。

しかしこればかりは否定はできない。哉夜はいつも寝てばかりいるから。

その後すぐに担任が入ってきて、プリントが配られる。

…6割はできた。悪くない結果だと思った、けど

昴は満点、哉夜は8割…不公平だ。

「お前やっぱ脳みそ小さいな」

「…暇だから授業中に見てた」

ずるい。

「だいたいお前、ケアレスミスが多いんだよ。cがsになってたりさー」

「叶きょう、ここa抜けてる」

こいつらは…、ずるい。

どうして俺はこんななんだろう。人を羨むのも妬むのも、自分をこき下ろすのも罵るのも、どうしてこんなにむなしなんだ。

「うるせー」

そう言っただけ笑うのが精一杯だった。

ぐちゃぐちゃに握り潰した答案用紙をごみ箱に投げる。そんな俺を、2人はそれぞれの眼差しで見ている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5356r/>

水中の鼠

2011年10月8日21時00分発行